



こんにちは、

岡田よしひで

です

中山間地域実態調査に関して

今年6月から12月にかけて、10年ぶりに中山間地域の集落実態調査が行われます。本県人口は2019年6月に70万人台を割り込み、現在68万人台にまで減少しており、とりわけ中山間地域での人口減少は深刻です。高齢化率は2015年の国勢調査で32.8%と、島根県を抜き、秋田県に次いで全国第2位となっております。今回の実態調査を今後の施策にいかさなければなりません。

そこで先ず、この10年間のとりくみをどう総括しているか聞きました。尾下中山間振興・交通部長は、前回調査を踏まえ、平成24年度から中間対策を抜本的に強化し、中山間地域総合対策本部における議論を経て、政

策を展開してきました。中山間対策の核となる取組である集落活動センターは32市町村61カ所で開設され、また移住者は、令和元年度実績で1030組1475名を数えるなど集落の活性化や担い手確保につながっております。このように前回調査で明らかになった課題の解決に向けて着実に前進したものと考えております。と答えました。

私は61カ所の集落活動センターが1カ所もこぼれることなく活動が続いていることを評価したうえで、今回の調査にあたりいくつか提案しました。

①今回のアンケート調査では、前回同様20歳以上を対象としていますが、18歳選挙権導入も踏まえて18歳以上、さらに15歳以上というように若い世代に対象を広げて、思いをつかむことが大切ではないか、②また、地区長等の代表者からの聞き取り調査に関し

ては、男性が多くなると考えられます。女性の視点も大事で、女性からの聞き取りをどう取り入れるのか聞きました。

中山間振興・交通部長は、経年変化を確認するためにアンケートは20歳以上とする方向で検討していました。対象者の年齢については、調査を監修していただく中山間地域活性化アドバイザー

ザーなど専門家の意見もお聞きしながら決定したいと考えています。議員からご指摘がありましたとおり、(聞き取り調査の)女性の視点も重要であると考えております。地区長さんなど代表者だけでなく、集落役員、民生委員さんにも同席していただく予定としておりまして、女性の方にも参加していただけるようお願いしていきたいと考えております。と答えました。

私は、調査を待つまでもなく、飲料水の安定的な確保など生活基盤への支援要望等が寄せられており迅速な対応を求めるとともに、知事の中山間地域振興の決意を伺いました。

濱田知事は、多くの方が地域に愛着と誇りをもって創意工夫を凝らしながら課題解決に立ち向かっておられます。皆様の声を真しにお聞きしながら中山間地域の振興に全力で取り組んでまいります。と答えました。



農業技術センターで栽培されている色とりどりのグロリオサ。赤、だいたい、ピンク、青、花粉の飛ばないものなど。

おむすび通信(81)

私の所属する商工農林水産委員会は5月11日から県内の出先機関等の調査を行っております。11日には香美市にある林業大学校や、南国市にある農業技術センターにうかがいました。